禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B76

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
２級 内装仕上げ施工 学科試験問題
(鋼製下地工事作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　内装制限箇所に使用される壁紙は、下地との組合せによって防火性能が異なる。

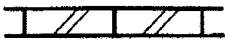
2　建築におけるツーバイフォー構法は、枠組壁構法の一種である。

3　鉄筋コンクリート造では、主として、鉄筋が引張り力を、コンクリートが圧縮力を負担している。

4　回り縁とは、壁と床の見切りに取り付けられた横材をいう。

5　大壁とは、壁仕上げ材で柱を隠す壁構法をいう。

6　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次は、普通ブロック壁を表す材料構造表示記号である。



7　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次は、シャッターを表す平面表示記号である。



8　建築基準法関係法令によれば、最下階の床は、主要構造部に含まれない。

9　建築基準法関係法令によれば、体育館や病院は、特殊建築物に含まれる。

10　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、高さ又は深さが 1.5m をこえる箇所で作業を行うときは、原則として、当該作業に従事する労働者が安全に昇降するための設備等を設けなければならない。

11　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、局所排気装置等を設けない密閉された室内において、有機溶剤を使用する業務に労働者を従事させるときは、当該業務に従事する労働者に送気マスク、有機ガス用防毒マスク又は有機ガス用の防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具を使用させなければならない。

12　材料の吸音率は、一般に、音が大きくなるほど高くなる。

13　中層の建築物における柱の耐火性能は、最上階でも最下階でも同じである。

14　打上げ天井とは、天井野縁の下から合板、金属板、繊維板などを打ち付けた天井をいう。

［A群（真偽法）］

15　さお縁天井は、洋風天井の一種である。

16　日本産業規格(JIS)によれば、鋼製天井下地材のシングル野縁ジョイントとダブル野縁ジョイントの板厚は、19形も25形も0.5mm以上とされている。

17　鋼製壁下地のスタッドにスペーサを取り付ける目的は、ランナの変形や振れの防止である。

18　被覆アーク溶接棒は、吸湿するとアークが安定する。

19　電動ジグソーは、材料を直線や曲線に切断することができる。

20　けい酸カルシウム板を鋼製天井下地に施工する場合、天井下地材は、けい酸カルシウム板の繊維方向と直交させる。

21　コンクリートは、一般に、酸性である。

22　油性塗料は、けい酸カルシウム板への塗装に適している。

23　鋼製天井下地工事における墨出しは、一般に、建物の基準墨のFLより1m上がりの陸墨から各スパンの壁面、又は柱面などに野縁面(野縁の下端)の水平墨(天井下地墨)出しを行う。

24　鋼製天井下地材の部材のたわみが大きくても、天井仕上げ材の亀裂や破損などの原因とはならない。

25　鋼製壁下地材の取付けにおいて、溶接した箇所には、さび止め塗料を塗布する。

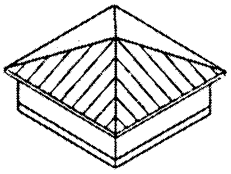
［B群（多肢択一法）］

1　内装仕上げ材として、一般に、使用しないものはどれか。
　イ　タイルカーペット
　ロ　化粧せっこうボード
　ハ　ストレッチルーフィング
　ニ　畳

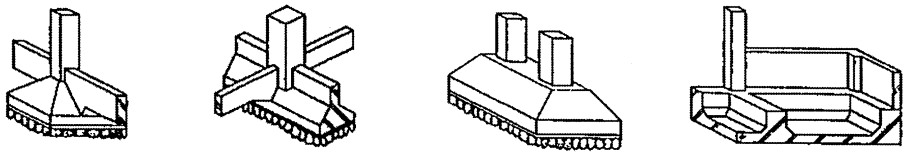
2　次のうち、組積造でないものはどれか。
　イ　鉄筋コンクリート造
　ロ　石造
　ハ　れんが造
　ニ　コンクリートブロック造

3　次のうち、鉄骨鉄筋コンクリート造を表す略称はどれか。
　イ　SRC造
　ロ　RC造
　ハ　CB造
　ニ　S造

4　次図の屋根形状の名称として、適切なものはどれか。
　イ　切妻
　ロ　方形
　ハ　寄せ棟
　ニ　入母屋

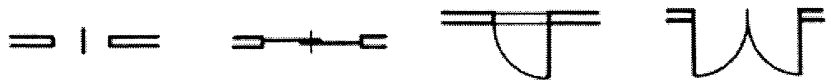


5　次図のうち、複合基礎を表すものはどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

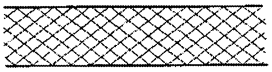
6　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、両開きとびらを表す平面表示記号はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

［B群（多肢択一法）］

7　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次の材料構造表示記号が表すものはどれか。



イ　左官仕上
ロ　畳
ハ　保温吸音材
ニ　板ガラス

8　建築基準法関係法令によれば、主要構造部に含まれるものはどれか。

イ　揚げ床
ロ　ひさし
ハ　屋根
ニ　間柱

9　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

建築基準法関係法令によれば、建蔽(べい)率は、建築物の建築面積(同一敷地内に2以上建築物がある場合においては、その建築面積の合計)の(　　)に対する割合とされている。

イ　敷地面積
ロ　延べ床面積
ハ　床面積
ニ　投影面積

10　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、脚立は、脚と水平面との角度を(　　)度以下とし、かつ、折りたたみ式のものにあっては、脚と水平面との角度を確実に保つための金具等を備えることとされている。

イ　85
ロ　80
ハ　75
ニ　70

11　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、吊り足場の作業床は、原則として、幅を(　　)cm以上とし、かつ、隙間がないようにすることとされている。

イ　20
ロ　30
ハ　40
ニ　50

［B群（多肢択一法)］

12　次のうち、熱伝導率が最も高いものはどれか。

イ　アルミニウム合金

ロ　ガラス

ハ　せっこうボード

ニ　合板

13　断熱材及び断熱に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　断熱材は、一般に、空気の熱の伝わりにくさを利用している。

ロ　繊維質系断熱材には、グラスウールやロックウールなどがある。

ハ　冬期における熱の流れは、屋外側から屋内側に流れる。

ニ　建物と外気間の熱の遮断は、建物における省エネルギー化に役立つ。

14　天井面を開放部材で構成し、照明などの効果で視覚的に天井裏を隠す仕上げ形式の天井はどれか。

イ　さお縁天井

ロ　あじろ天井

ハ　システム天井

ニ　ルーバー天井

15　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、鋼製天井下地材の19形のクリップの板厚は、(　　)mm以上とされている。

イ　1.0

ロ　0.8

ハ　0.6

ニ　0.4

16　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、鋼製壁下地材の鋼製部材の組合せにおいて、区分記号90形におけるスタッドの長さは、(　　)m以下とされている。

イ　4.0

ロ　4.5

ハ　5.0

ニ　5.5

17　高速といしで切断作業を行う場合、使用してはならないものはどれか。

イ　防じんめがね

ロ　長袖シャツ

ハ　軍手

ニ　保護帽

［B群（多肢択一法）］

18　コードリール(電工ドラム)に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　降雨の中での作業には、防雨型のものを使用する。

ロ　ガスや火気の近くでは使用しない。

ハ　電線は、ドラムに巻いたまま使用する。

ニ　コードリールのリードは、引き止めマーク以上に引き出さない。

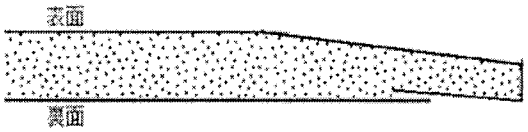
19　日本産業規格(JIS)によれば、次図のせっこうボードの側面加工形状の名称として、正しいものはどれか。

イ　スクェアエッジ

ロ　テーパエッジ

ハ　ベベルエッジ

ニ　ラウンドエッジ



20　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

建築工事標準仕様書(JASS)によれば、鋼製壁下地にせっこうボードを取り付ける場合は、鋼製下地の裏面に(　　)mm以上の余長が得られる長さのドリリングタッピンねじを使用するとされている。

イ　2

ロ　5

ハ　7

ニ　10

21　塗装工事におけるせっこうボード面の素地ごしらえとして、適切でないものはどれか。

イ　乾燥

ロ　研磨紙ずり

ハ　サンダー掛け

ニ　吸い込み止め(シーラー処理)

22　鋼製天井下地における野縁の加工及び取付けに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　野縁と野縁受けは、クリップ止めとし、クリップは、野縁受けに対し交互の向きに止めるとよい。

ロ　野縁の端部は、野縁受けから150mm以上はね出して取り付けてはならない。

ハ　壁などに接する野縁には、必ずシングル野縁を使用する。

ニ　野縁のジョイントには、野縁ジョイントを使用する。

23　障害物などにより、仕上げ面に墨出しができないときに打つ墨はどれか。

イ　心墨

ロ　逃げ墨

ハ　陸墨

ニ　地墨

［B群（多肢択一法）］

24　軒天井やピロティなどの風圧力の大きい施工において、耐風圧強度上の確認が必要でないものはどれか。

イ　ボードの座屈

ロ　ボードの板厚

ハ　ボードの曲げ強さ

ニ　ボードの留付け間隔

25　鋼製下地工事の作業及び養生に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　天井下地材への資材の吊し掛けは、禁止する。

ロ　ガラス面の近くで溶接作業をする場合は、防煙シート等で養生する。

ハ　間仕切り壁への資材のたて掛けは、禁止する。

ニ　溶接作業のアースは、下地材に直接接続する。